



ナシ特報

No. 5

平成 27 年 5 月 29 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市ナシ部会

5 月中旬からケムシ類・アブラムシ類の被害が目立ちます。被害が大きい園では特別散布等を実施してください。今回の薬剤散布は梅雨入り前の重要な防除です。予防効果を前提としていますので、雨が続く前に散布を完了するようにしてください。詳しくは下記を参考にしてください。

◆ **和梨の定期防除** (収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。)

◇ 6 月上旬の薬剤散布 (前回から 15 日後)

散布時期：6/5～10 頃 *注意事項④、⑤参照	散布日：6 月 日
散布薬剤	散布量： リットル
水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
ロブドー水和剤	1 2 5 g (14 日前、5 回)
サイアノックス水和剤	1 0 0 g (有袋 ：7 日前、3 回・ 無袋 45 日前、3 回)
対象病害虫：黒斑病、黒星病	
シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、(カメムシ類)	
散布量：10 a 当たり 400 リットル	

～ 注意事項 ～ *必ずお読みください。

- ① 袋掛け前の防除とする。また、散布後 1 週間以上を経過した場合は、キノンドーフロアブル 1,000 倍 (3 日前、9 回) を特別散布し、袋掛けを行う。
- ② 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。
- ③ 前回の薬剤散布が遅れた場合や雨や曇天が続く予報が出た場合は、上記の散布時期より前倒しで実施する。
- ④ カイガラムシ類の発生園は、アプロードフロアブル 1,000 倍 (30 日前、2 回) を**加用する**。
- ⑤ カメムシ類の被害が散見される場合は、アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍 (前日、3 回) を**加用する**。

次回 (6 月中下旬) の散布予定

- ◆ 有袋：6/20～25 (前回 15 日後)
- ◆ 無袋：6/15～20 (前回 10 日後)

◆ 西洋梨の定期防除は裏面をご覧ください。

西洋梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

5月中旬からケムシ類、カメムシ類の被害が目立ちます。被害が大きい園では特別散布等を実施してください。梅雨明けまでは、輪紋病の最重要防除期間です。予防効果を前提としていますので、雨が続く前に確実に散布完了するようにしてください。詳しくは下記を参考にしてください。

☆ 6月上旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布日：6月 日
散布量： リットル

散布時期	6/5～10頃 *注意事項①、②、③参照		
散布薬剤	水	1000 当り	
	展着剤	10ml	
	ダズバンDF	33g (21日前、3回)	*注意事項④、⑤参照
	オキシラン水和剤	200g (3日前、9回)	*注意事項⑥参照
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、(腐らん病)		
散布量	10a 当り 500 リットル		
注意事項	<p>① 袋かけ前に降雨があった場合は、オキシラン水和剤 500 倍(3 日前、9 回)を再度散布してから袋かけを行なう。</p> <p>② 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。</p> <p>③ 前回の薬剤散布が遅れた場合や雨や曇天が続く予報が出た場合は、上記の散布時期より前倒して実施する。</p> <p>④ ダズバン DF は医薬用外劇物です。購入の際は印鑑を持参してください。</p> <p>⑤ カメムシ類の発生園は、アルバリン顆粒水溶剤の 2,000 倍（前日、3 回）を加用する。</p> <p>⑥ 有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内です。</p>		



次回（6月中下旬）の散布予定
◆ 6/20～25（前回15日後）

◆ 和梨・西洋梨の仕上げ摘果のポイントはナシ部会通信 No1 をお読みください。